

福祉サービス第三評価結果の公表ガイドライン

① 第三者評価機関名

NPO法人未来

② 施設・事業所情報

名称：認可小規模保育所 江津クローバー保育園	種別：保育所
代表者氏名：山城 伸一 園長 氏名：水田 美佳	定員(利用人数)：19名(19名)
所在地：鳥取県鳥取市江津 1247-3	
TEL：0857-20-3942	ホームページ： http://clover-hoikuen.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2017年5月1日	
経営法人・設置主体(法人名等)：株式会社クローバーホールディングス	
職員数	常勤職員： 7 名 非常勤職員 4 名
専門職員	保育士 5 名 保育士 3 名
	支援員 1 名 調理師 1 名
施設・設備 の概要	(居室数) 5 室 (設備等)
	空調・床暖房

③ 理念・基本方針

保育理念

好きなことをもっと好きになれるよう 自分らしさを大切にのびのびと生活する

保育方針

- 四季を感じながら、色々な体験をしていきます
- 好きなことがもっと好きに、楽しくなるように個性を大切にしていきます
- いろいろな人と関わる中で、心の育ちを大切にします

④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ・子ども主体の保育計画を実施する。
- ・子どもたちひとりひとりの「すき」を見つけて伸ばす保育
- ・肯定的な言葉かけの実践
- ・働きやすい環境づくり

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年10月19日（契約日）～ 令和3年3月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成30年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ①一人ひとりの成長等から生じる個人差を受容し、しっかりと向き合っていて関わっている。せかす言葉、制止させる言葉を使うことなく、のびのびと過ごせるよう保育を行っている。
- ②施設が狭く園庭もないが、近くに複数の公園があり、自然や地域の人と触れ合う中で探索活動ができている。
- ③クローバーグループの栄養士が卵・小麦粉を抜いた「除去食」で献立を作成し、旬の食材や地元の食材を使って個々の成長にあった食事を、自園調理で提供している。
- ④コロナ禍にあり、保護者会やクラス懇談会は開催できていないが、SNSで行事の様子を発信したり、「保護者参加日」を1日1組限定で受け入れるなどの取り組みをおこなっている。
- ⑤避難訓練を定期的に実施し、備蓄を整備している。いざという時の抱っこ紐やおんぶ紐を準備している。
- ⑥クローバーグループ全体で定期的に第三者評価を受審し、職場改善についての全職員との情報共有に取り組んでいる。
- ⑦労務管理について、外部コンサルティングの評価を受け、課題解消に向け取り組んでいる。

◇期待できる点

- ①職員一人ひとりの能力を発揮するための労働環境、相談しやすい環境、バランスのとれた配置ができるように人事制度を含めた改善策に取り組んでいる。
- ②今年度、社外監査役（会計士）の選任、外部の監査法人との契約の締結、事業・内部統制・財務等の整備をし、透明化を図っている。
- ③グループウェア（サイボウズ）導入により、全園と本社を繋ぐクラウド上での情報共有環境を整備し、業務の効率化を進めている。

◇改善を求められる点

- ①事業計画の職員への周知及び理解の促進に努め、さらに保護者への発信を進めていくよう期待する。
- ②会社組織全体の規模が拡大しており、効率化及び管理体制の透明化を図るため、今期よりクラウド人材管理システムを導入している。人事考課や目標管理等への活用がスムーズに実用化することを期待する。
- ③園全体でマニュアル等の見直しをしてはどうか。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開など園児や保護者の方との関わりの面で評価していただいた事が、職員一同今後の自信と励みになります。
また、マニュアル面の再整備の重要性、地域との関わり方を改めて感じた。コロナ禍である中でも工夫して出来る地域との関わり方、マニュアルの再整備に取り組んでいきたい。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

第三者評価結果

※すべての評価細目(45項目)について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。
※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>ホームページや園のしおりに理念・基本方針を示し、また、園の玄関の目に触れるところに掲示し、周知を図っている。保護者に対して、園の行事や保護者アンケートなどその都度園の方針をわかりやすく説明している。職員に対しては、職員研修、ミーティング等で理念・方針の共有およびそれに基づく実践状況を確認し、継続的な取り組みを行なっている。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>国や県、民間研究機関、同業種上場企業等の公表資料を収集し、動向把握に努めているが十分とは言えない。会社役員を中心に経営会議をし、課題を抽出する機会を作っている。役員による定期的な職員面談等により現場の環境把握に務めており、月1回以上の経営会議や取締役会で課題を把握し、分析する機会を作っている。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めてい	a Ⓑ・c

	る。	
<p><コメント> 財務会計と内部統制については、今年度外部の監査法人と監査契約を締結し、組織全体の強化に努めている。外部の会計事務所の協力を得て、内部統制関係の整備をした。職員の周知までには至っていない。外部コンサルティングの評価を受け、労務管理上の課題解消に向け取り組んでいる。グループウェア（サイボウズ）導入により、全園と本社を繋ぐ情報共有環境を整備した。また、クラウド型電子契約システムを導入し、業務の効率化に努めている。職員への周知が課題である。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a <input checked="" type="radio"/> b c
<p><コメント> 経営計画についての中期経営計画及び収支計画を策定し、取締役会等により評価するよう、努めている。理念や基本方針の実現に向けての中・長期計画は十分とは言えない。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a <input checked="" type="radio"/> b c
<p><コメント> 単年度の事業計画は、新規開設や人材確保、人員配置、園児受け入れ等計画を策定し、毎月の取締役会、経営会議で情報共有している。数値目標や事業の成果を設定するなど、具体的に検討してはどうか。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a b <input checked="" type="radio"/> c
<p><コメント> 全体の保育計画、月案、週案、個別経過記録などでその都度保育理念や保育目標に基づく評価、反省を行なっている。しかし、本社の掲げる事業計画は職員等の参画や、意見の集約・繁栄が十分に行われていない。計画を具体的に職員が周知・理解できるよう取り組みの工夫を期待する。また、事業計画の実施状況が手順に基づいて具体的に評価・見直しできるように努めてほしい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a b <input checked="" type="radio"/> c
<p><コメント> ホームページ上には事業計画は示されていない。保護者には年間行事に関する文書を配布している。保護者の参加を促す観点から事業計画についてのさらなる周知・説明の工夫を期待する。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>内部評価については、法人による職員個人面談・各園ミーティング・園長会・年齢別研修等の定期開催により、意見交換や情報共有を図り、質の向上に努めている。会社組織全体の規模が増大しており、効率化及び管理体制の透明化を図るため、今期よりクラウド人材管理システムを導入し、人事考課や目標管理等に活用していく計画がある。全職員で評価に基づく振り返りや情報共有に努めてほしい。グループ全体として計画的に第三者評価の受審を計画している。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>ミーティング、園内研修等において定期的に課題解決に向けて見直しを行う体制を構築している。より良い状況にしていくため、建設的な意見が出る場に行えるよう今後も継続してほしい。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>園だより、ホームページ、重要事項説明書等で、園長の役割と責任を伝えて、職員にも周知している。課題に応じて、役割を果たすことに努めている。</p> <p>園長不在時の権限委譲も文書化してほしい。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>グループの園長会等を通して、管理者としての心得や法令遵守の観点での保育に取り組み、職員に周知している。福祉分野だけでなく、雇用、労働、防災、環境等の分野の理解を深める取り組みも行ってほしい。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>園長は、定期的に保育日誌や月案の評価、分析を行ったりして、保育の質を向上するために、子どもの関わり方について話し合っている。職員の意見を反映するために、より具体的</p>		

な指導をしてほしい。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>人事、労務、財務等は本部が一括して業務を担当している。今年は事務員、支援員（保育士資格のない補助）を配置し、保育士の保育時間が軽減された。本部と連携して、継続的な安定した良質の保育が実施できるよう取り組んでほしい。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>法人本部として外部研修へ計画的に参加を促し、その学びを検証する体制をとっている。法人で女子サッカークラブを運営し、当該部及び保育系学科を持つ大学等にも直接アプローチをし、子育て支援員も含め、人材の確保に努めている。補助金等を活用し、保育士等の資格取得支援を実施している。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>職員面談により意向・意見の吸い上げ等実施しているが、明文化された基準や体系的な評価制度の確立については不十分である。法人全体で職員数が増大しており、今期よりクラウド人材管理システムを導入し、人事考課や目標管理等に着手しているところである。職員が将来の姿を描くことができるような仕組み作りを期待する。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>有給休暇の取得状況は本部が管理をし、出勤簿や休暇簿の点検等、職員の健康管理に配慮したシフト作成を園長と本部が連携し、把握に努めている。日ごろから職員が相談しやすいよう工夫し、心身の健康や福利厚生についての意向の把握に努め、さらに働きやすい職場づくりに取り組んでほしい。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>定期的に個人面談を実施し、職員の理解度や保育の質の向上に取り組んでいる。法人の期待する職員像を目指し、職員一人ひとりの目標を設定し、達成度の確認ができるような体制が整うことを期待する。新任職員の育成に努めてほしい。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定さ	a (b) c

	れ、教育・研修が実施されている。	
<p><コメント></p> <p>自治体等外部が主催する研修に参加している。法人内においては、職種別、担当クラス別等に分類し、会議による意見交換や研修を実施している。職員教育・研修に関し、具体的な目標や体系的な計画等、さらに明確な保育所の基本姿勢が期待される。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a b ・c
<p><コメント></p> <p>職員の経験年数、クラスの子どもの姿等を配慮し、本人の希望を確認した上で研修計画を組んでいる。研修後は報告書を提出し、園内の伝達研修で共有している。今後は体系的な計画を策定するための評価基準を明文化していくよう検討中である。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a b ・c
<p><コメント></p> <p>実習のしおりを作成し、受入フロー、実習目標の共有及び振り返りについての流れをマニュアルとして文書化しているが、不十分である。単に取得のみを目的とせず、実際の保育を体感する等、保育園グループの理念を共有できるよう努めている。今後、より体系的に学べるようなプログラムを工夫してほしい。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a b ・c
<p><コメント></p> <p>園見学や公開保育等を積極的に実施している。SNS等も活用して、幅広く触れる機会の創出に努めている。今年、ホームページをリニューアルした。今後情報公開を行っていく計画があり、事業計画、苦情相談、第三者評価結果、財務報告等公表内容を広げてほしい。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a b ・c
<p><コメント></p> <p>事務、経理、取引等において、本部と各園で棲み分けをしている。小口現金は各園で行い、消耗品、備品等小口現金予算の範囲を超えるものはグループウェア（サイボウズ）上で稟議をかけるなど、承認経路をスリム化し処理の迅速化を図っている。社外監査役（会計士）を選任し、また外部監査法人と契約を締結し、事業、内部統制、財務等を整備し、内部監査室を設置した。運営状況についての職員の周知を望む。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
<p><コメント></p> <p>近隣のケーキ店へ勤労感謝の日にプレゼントを届け、その後、店からハロウィンの仮装でお菓子を届けてくれる交流があった。デイサービスとの交流は、今年度は職員を通してのプレゼント交換の実施だった。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a · b <input checked="" type="radio"/> c
<p><コメント></p> <p>現段階での受け入れの体制は出来ていない。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
<p><コメント></p> <p>市のこども家庭課、こども家庭相談センター、児童相談所等関連機関との連携は図っているが、十分とは言えない。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a · b <input checked="" type="radio"/> c
<p><コメント></p> <p>地域との関わりがまだ十分には確立できていない。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a · b <input checked="" type="radio"/> c
<p><コメント></p> <p>地域住民とのかかわりが、まだ十分ではなく民生委員とのかかわりも少ない。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
<p><コメント></p> <p>それぞれに応じた柔軟な対応ができるように定期的に研修会・勉強会を実施している。研修内容なども保護者に園だよりや園のしおりを通じて知らせている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a <input checked="" type="radio"/> b · c

<p><コメント> 子供のプライバシー保護については、運営規定や玄関の利用プレートに明記している。狭いスペースではあるが、配慮や工夫をしてほしい。</p>		
<p>Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・ <input checked="" type="radio"/> ・c
<p><コメント> 利用希望者に対しては、情報を明記したパンフレットを渡し対応をしている。ホームページやフェイスブック等活用して、園の行事など公開もしている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・ <input checked="" type="radio"/> ・c
<p><コメント> 市役所の担当課と相談・連携して行っている。保護者には入園前の面接時に説明し、配慮が必要な子どもに関しては、個別に対応している。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・ <input checked="" type="radio"/> ・c
<p><コメント> 個別の経過記録や発達記録は、必要に応じて行政や関係機関との連携が図れるよう対応している。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。</p>		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。	a・ <input checked="" type="radio"/> ・c
<p><コメント> 保護者アンケートを年2回実施している。意見箱は設置してあるが施設が手狭のため見えにくい。更に気軽に意見を聞ける環境作りを検討している。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・ <input checked="" type="radio"/> ・c
<p><コメント> 苦情解決責任者や窓口を設置し、本部と相談しながら改善や解決に努めている。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・ <input checked="" type="radio"/> ・c
<p><コメント> 参加日や園見学などで様子を見られるよう環境を整え、改善に努めているが、意見を述べやすいスペースの確保など環境への配慮が課題である。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ <input checked="" type="radio"/> ・c

<p><コメント></p> <p>日々の送迎の際にしっかりと話ができるような関わりを重視している。祖父母等の送迎の場合には連絡ノートで伝えるよう心掛けている。早急に相談対応マニュアルの整備を望む。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>園長・主任・副主任は、マネジメント研修に参加して職員への伝達にも心掛けている。定期的に安全点検を行い、事故の再発防止を図っている。研修や会合の開催が課題である。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>感染症予防のため、手洗いうがいの励行と次亜塩素酸電解水による清掃・除菌を徹底している。感染症マニュアルは定期的に見直している。勉強会の開催が課題である。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>避難訓練を定期的実施し、備蓄も整備している。いざという時の抱っこ紐やおんぶ紐も準備している。地域の自治会との連携した訓練も予定しているが、連絡待ちの状態である。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>保育マニュアルが整備されている。全体及び各年齢別の目標や計画があり、各週で評価・反省している。入園前の面接時に重要事項の説明を行い同意を得ている。日常の保育については利用プレートを作成し、サービス内容を掲示している。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>職員ミーティングでマニュアルの研修を行い、月案・週案で経過記録を共有し活動内容の見直しを図っている。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a・ b ・c

<p><コメント></p> <p>指導計画に沿った情報の共有が図られている。個別の対応が必要な場合は、保護者との懇談を行ったり、送迎時に話し合ったりしている。また、専門機関に相談して連携も図るようになっているが、時間をゆっくりとれていないのが現状である。</p>		
43	<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>a <input checked="" type="radio"/> b · c</p>
<p><コメント></p> <p>保護者、職員の意見を取り入れながら、指導計画の見直しを行うように努めている。日々の保育、年案、月案、週案等で定期的に指導計画は評価、見直しが行われ継続的に保育の向上につなげている。変更があれば赤字で追記している。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	<p>a <input checked="" type="radio"/> b · c</p>
<p><コメント></p> <p>成長の様子や変化を家庭状況確認票で作成し、日々の子どもの状況を共有しながら職員全体で把握している。</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	<p>a <input checked="" type="radio"/> b · c</p>
<p><コメント></p> <p>個人情報の記載されている資料は施錠管理されており、取扱いについての説明と同意は得ている。記録管理の責任者を置き、電子データの管理とともに、保存年数に合わせた管理と廃棄の徹底を望む。</p>		

福祉サービス第三者評価結果（江津クローバー保育園） （内容評価基準—保育所版—）

※評価項目（20項目）のうち18項目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を記入する。

A-1 保育内容

評価項目	第三者評価結果	判断理由
A-1-(1) 保育課程の編成		
1	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・ ⓑ ・c 全体的な計画は、理念や方針、目標に基づき作成されているが日々の保育にすべてを活かしきれていない。保育実践を振り返り、記録等を通して、定期的に全体的な計画の評価を行い、次に生かすことを期待する。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
2	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・ ⓑ ・c 次亜塩素酸水生成器を設置し、毎日各所消毒作業を行っている。また、「保育室安全点検表」を用いて、毎週点検を行い、清潔かつ安全で安心感をもって生活できるよう整備している。スペースが狭いため、整理整頓の工夫にさらに努めてほしい。
3	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	ⓐ ・b・c 小人数であるため、一人ひとりの成長等から生じる個人差を受容し、しっかりと向き合っている。せかず言葉、制止させる言葉を使うことなく、のびのびと過ごせるよう保育を行っている。
4	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	ⓐ ・b・c 個々の成長の様子に合わせ、子どもの主体性・自主性を尊重しながら、声掛けや援助を行っている。
5	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	ⓐ ・b・c 子どもが、集団・異年齢・個別とさまざまな場面において主体的に活動でき楽しめるよう、職員は日々試行錯誤しながら援助している。
6	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	ⓐ ・b・c ゆったりとした環境の中で子どもが「すき」を見つけて、繰り返して遊べるよう環境を整備している。送迎時や連絡ノートで子どもの小さな変化や成長を保護者と共有し、連携を図っている。
7	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	ⓐ ・b・c 施設が狭く園庭もないが、近くに複数の公園があり、自然や地域の人と触れ合う中で探索活動ができている。いろいろな場面で子どもの自我の育ちを受け止め、適切な関わりを行っている。
8	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c 該当なし
9	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ ⓑ ・c 職員は研修を受ける機会があり、必要な知識や情報を得る努力をしている。子どもの発達状況や課題について記録し、保護者と情報を共有し共通認識をもつよう努めている。必要に応じて、行政関係機関との協力・連携を図っている。
10	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	ⓐ ・b・c 人員的にも余裕があり、家庭的でゆったりと過ごすことのできる環境である。子どもが個々のペースで生活できるよう配慮している。視診簿に記入し、家庭に伝えたいことをシフトの異なる職員全員が共有し、家庭との連携がとれるようにしている。
11	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c 該当なし

A-1-(3) 健康管理			
12	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・ b ・c	グループの看護部が保健計画にそって毎月保健だよりを作成し、それを園でアレンジしたものを配布し、保護者に方針や取り組みを伝えていく。乳幼児突然死症候群については、睡眠時チェック表を用いて観察記録しているが、保護者に対しての情報提供は行っていない。
13	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a ・b・c	園で、年2回の内科健診、年1回の歯科健診を行っている。結果は記録に残すとともに職員全員で共有し、保護者に通知し連携を図っている。
14	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師から指示を受け適切な対応を行っている。	a ・b・c	アレルギー疾患、慢性疾患等のある場合は、医師の診断書で確認し、指示通りに対応している。食事の提供においては「除去食依頼書」を提出してもらい、専用の食器・トレー・テーブル・椅子を使用し、アレルギーチェックリストによりチェックするなど、配膳時の配慮をしている。可能な範囲で他の子どもや保護者に対して理解できるよう伝えている。
A-1-(4) 食事			
15	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a ・b・c	食育年間計画があり、毎月食育会議を開き、子どもが食に対して関心を深めるための取り組みを行っている。菜園活動、クッキング等を行うことで食材への興味が持て、楽しみながら美味しく食事することをねらいにしている。毎月食育だよりを発行し、保護者へ情報発信している。グループ内で食育研修があり、情報交換の場にもなっている。
16	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べるのできる食事を提供している。	a ・b・c	グループの栄養士が、卵・小麦粉を抜いた「除去食」で献立を作成し、旬の食材や地元の食材を使って、個々の成長にあった食事を自園調理で提供している。毎月「食育の日」をもちき、さまざまな工夫をしている。

A-2 子育て支援

評価項目	第三者評価結果	判断理由	
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
17	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a ・b・c	日々の送迎時の会話や連絡ノートを活用して、日中の様子やエピソードなどを交えて成長の様子を伝えている。コロナ禍にあり、保護者会やクラス懇談会は開催できていないが、SNSで行事の様子を発信したり、保護者の「参加日」を1日1組限定で受け入れるなどの取り組みをおこなっている。
A-2-(2) 保護者等の支援			
18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a ・b・c	小人数であるため、保護者としっかり連携がとれている。園だより・保健だより・食育だより等で家庭への情報発信を行っている。コロナ禍における各家庭の事情をふまえて、希望制で、個人懇談を行うこととしている。
19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・ b ・c	児童虐待のマニュアルを作成し職員に周知しているが、研修が十分にできていない。日々の怪我や、服装、表情などからも観察を行い早期発見・早期対応できるよう観察を行っている。関係機関との連携を図り、チラシやポスターによる啓発に努めている。

A-3 保育の質の向上

評価項目	第三者評価結果	判断理由	
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）			
20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・ b ・c	日々や毎月、期毎でPDCAサイクルに基づき、評価・反省を行なっている。グループ全体で、自分の対応を見直す「振り返りシート」による自己点検を毎月行っている。それぞれの反省や課題に挙げた点は、優先事項から職員研修に取り入れ、早期対応に努め、保育の質の向上に向けた取り組みをおこなっている。